

令和元年度 放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

○アンケート回答者 5 名 / 集計数 5 名（職員）

ロザリオ発達支援センターふたばクラブ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	回答 なし	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 設備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	1	3	2	0	・車いす利用児と知的の利用児が同じ部屋で過ごす事に少し不安を感じることがある。 ・車いすから降りた利用児が歩行可能児に踏まれないようパーテーションで囲っている。 ・車いす利用児が多いときは狭く感じる。 ・車いす利用児が横になってゆっくり過ごすスペースを確保したい。 パニックを起こした利用児や体調不良の利用児が過ごせる静養室があると良い。
	② 職員配置数は適切であるか。	3	1	2	0	・経営面と支援（現場）のギャップがあるため、支援（現場）としての余裕が欲しい。毎日バツバツの状況にある。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	5	0	1	0	
業務 改善	④ 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6	0	0	0	・放課後デイの職員は毎回行い、職員の共通理解を持っている。 ・ミーティングで目標、振り返りを行っている。 ・定期的に会議を行い業務改善に向けて取り組んでいる。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	4	2	0	0	・ミーティング等で意見調査を見て、職員みんなで改善に繋げるように話し合っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか。	3	2	1	0	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	0	0	・今後業務改善に繋げていきたい。 ・今回初めて第三者評価を受けた。またボランティアにアンケートを記入していただいている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6	0	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	⑨ アセスメントを適切に行うい、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	0	0	・定期的に保護者からニーズを聞き、ケース会議で話し合っている。 ・計画は手テルが、利用人数が多く保護者の細かいニーズまで答えることができない気がする。 ・サービス管理責任者が現場に入らなければいけないので、計画的にサービス計画が作成できない。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3	2	1	0	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	0	0	・会議を定期的に行っている。 ・定期的に活動会議を開催している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0	0	・会議を定期的に行っている ・月間予定表に活動プログラムをのせて固定しないよう作成、公表している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	6	0	0	0	・会議を定期的に行っている。 ・会議にて細かく打ち合わせを行っている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動を集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	1	0	・会議を定期的に行っている。 ・全体での会議を行った後、個々のニーズに答え対応している。 ・個別活動までは実行できていない。利用人数と職員数の比率があっていないため、個別活動まで手が回らない。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	0	0	0	・ミーティングを行っている。（複数意見） ・朝と送迎前のミーティングを行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	0	0	・ミーティングを行っている。（複数意見） ・当日ではなく翌日に振り返りを行っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	1	0	・ミーティングを行っている。 ・目標に対し記録している。 ・18時から18時半までの30分間で一人で記入しているため、正しく記録がとれていない。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	4	1	1	0	・9月、3月の2回モニタリングを行っているが、評価が間に合っていない。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2	0	0		

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	4	2	0	0	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	0	0	・連携をとっている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	3	2	1	0	・看護師が不在のことが多く、常駐してもらえることを望む。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	0	0	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ以降する場合、それまでの支援内容等の情報提供する等しているか。	4	1	1	0	・アセスメントに関しては、それぞれの事業所ごとに行っているため、電話連絡で行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4	2	0	0	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	3	1	2	0	・夏休み等にボランティアで学生さんが来て交流している。（複数意見）
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	2	0	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	0	0	・お迎えの際、口頭で伝える。（複数意見）
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	2	3	1	0	
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	0	0	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	1	0	0	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	2	2	2	0	・保護者会は行っていない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	0	0	・すぐに上司に報告し対応（謝罪）する。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	2	1	0	・活動票を配布。活動の様子をプリントアウトして配布しているが定期的ではない。 ・特に会報は作成していない。
	㉟	個人情報に十分注意しているか。	6	0	0	0	
	㊀	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	0	0	・言葉だけでなく、身振り手振り、絵カードを使用してコミュニケーションをとっている。 ・絵カードの提示を行い、視覚的配慮を行う。
非常時等の対応	㊁	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	0	0	
	㊂	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5	0	1	0	・マニュアルはあるが自分自身がわかりきっていないところもある。 ・保護者までの周知ができていない。
	㊃	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	0	0	・年に数回、避難訓練（地震・火災）を行っている。
	㊄	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3	0	0	
	㊅	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	0	0	
	㊆	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	0	0	・アセスメント記入を保護者からしていただく。 ・アレルギーについては家族からの情報を共有している。
	㊇	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	6	0	0	0	

《特に良いと思う点》

- 若手職員が積極的に業務に取り組んでいる。
- クラブ職員間ではミーティング等で共通理解ができていて仕事を行いやすい。(複数意見)
- 支援前に、その日の注意点や変更点など職員全体が把握できるような機会を設けている。
- 支援の振り返り、個人目標の設定、支援内容を確認する場を設けている。
- 気付きを大切に業務改善に繋げている。
- 体調やプライベートに応じて職員配置、役割を変え、情緒面の安定が図れている。
- 仕事をたくさん抱えてしまうときや、子育て中のため急な休みや業務などをカバーし合える環境が整っている。
- 残業なく帰れる。
- 新しい活動等を行う際、職員が協力してくれる。いろいろなことに挑戦しやすい。
- 職員も子どもたちもいつも笑顔で、笑い声が聞こえる。
- 子どもへの支援がきめ細かい。
- 障害の程度関係なく受け入れる。(利用人数に空きがある場合)
- 土曜開所、長期休み内でたくさんの行事を盛り込み、子どもたちが楽しめる内容を行っている。
- 利用児や家族のことを全職員が第一に優先して考えている。

《特に改善したいと思う点》

- 全体の3事業が一緒のため、3事業全体の共通理解が乏しい。(複数意見)
- 3事業全体の経営となっているので、事業ごとの経営(予算建て)を行ったほうが良いと思う。
- 保育所との連携、協力があまり成り立っていない。
- 長期休み時の職員の休憩時間。
- 利用児数に対しての部屋の確保。(車いす児がゆっくり降りて過ごす場所が少ない)
- 医療児の受入れが難しい(看護師不足)
- 子どもたちのものや必要なものを、なかなか購入することができない。(複数意見)
- 利用児の人数を少なく職員の人数を多くして密に関わるのが良いのか。毎日利用児を定員いっぱいに入受、職員同士は話し合い楽しませる工夫を頑張っている中で、お金の件を含め頑張っていることを少しむなしく思ってしまうのと、意欲が低下してしまう。